

## 東日本製鉄所千葉地区における環境問題に関するお詫びとご報告

J F E スチール株式会社社長の數土文夫でございます。

弊社東日本製鉄所千葉地区における環境問題に関してご報告申し上げます。

まずもって、このような件につきましてご報告致しますことを、深くお詫び申し上げます。誠に慙愧に耐えない思いではありますが、これを機に、全社一丸となって信頼の回復に努め、再出発いたします。

(別紙をごらんいただきたく、お願いいたします)

2005年2月4日

JFEホールディングス株式会社

JFEスチール株式会社

## JFEスチール(株) 東日本製鉄所(千葉地区)の環境問題について

JFEスチール(株) 東日本製鉄所(千葉地区)は、現在、①水質汚濁防止法の基準値を上回る高アルカリ水を漏出させた疑いにより、千葉海上保安部の捜査を受けております。また、②その後の社内調査の過程で、構内排水測定点での水質測定データの一部を書き換えて千葉県と千葉市に報告していたことが明らかになりました。③さらに社内調査を徹底的に実施したところ、排水口からシアン等で県条例の基準値を超える濃度の物質を含んだ水を排出したことが判明いたしました。

これらに関しましては、実態把握後、速やかに県と市に一報し、ご指示を受けながら徹底的な調査を行なうとともに、1月28日からは県・市による立入調査も受けました。現在、緊急対策の実施により、高アルカリ水を含め、全ての排水等について法令・協定に定められた基準値を下回っていることを確認いたしております。恒久対策につきましても、県・市のご指導を仰ぎながら進めております。

私たちJFEスチールは、広く社会に貢献することを使命とし、常日頃より法令遵守および企業倫理の徹底に努めてまいりましたが、このような事態を招いてしまいましたことは誠に残念であり深く反省しております。地元住民の皆様や関係御当局、ならびに関係各方面の方々に多大なるご迷惑をおかけし、心よりお詫び申し上げます。

千葉海上保安部の捜査を機に、直ちに調査・対策本部を設置し、千葉地区を徹底的に調査し、対応すると同時に、厳しく全社を点検しております。

今回の件を真摯に受け止め、社内のコンプライアンス体制を更に強化するとともに、設備面、管理運営面における再発防止策を通じて二度とこのようなことを起こさぬよう、万全を尽くしてまいります。

JFEスチールは設立から1年10ヶ月余が経過しておりますが、私たちはここで今一度、社会の一員として負うべき責任の重さを噛み締め、企業設立の原点に立ち返り、弊社全体で対策に全力を傾注し、社会的信頼の回復に努めてまいります。

以 上

## 【参考資料】

### 対 策

- 東日本製鉄所（千葉地区）における環境管理体制の抜本的建直し
  - （1） 環境管理部の独立 および 環境管理部門の人員増強
    - ① 環境管理部を環境エネルギー部から独立させ、人員増強する。
    - ② 環境管理部を最重要部門と位置付け、全所的な意識改革を図ることにより、製造部門、水処理設備運転部門等への指導力を強化する。
  - （2） 測定データおよび異常監視の強化
    - ① 所長・副所長・環境管理部門による異常の監視、および操業部門へのタイムリーな改善指示
    - ② 上記を確実に実行するため、以下のハード・ソフト対応の検討・実施
      - ・ 分析の迅速化（可能な分析項目についてはオンライン自動測定化）
      - ・ 情報伝達の同期化（オンライン自動伝送）
  - （3） 環境保全に関する教育の徹底・強化と意識の向上、およびコンプライアンスの再徹底
  - （4） 本社担当役員・監査部門による定期的な監査の実施 1回／3ヶ月
- 全社的展開

東日本製鉄所（千葉地区）における上記の抜本的建直し策を JFE スチール(株)東日本製鉄所（京浜地区）、西日本製鉄所（倉敷地区）ならびに（福山地区）、知多製造所等においても全社的に展開してまいります。